

令和 5 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市デイサービスセンター 幸楽					
所在地	生駒市北新町3番1号					
指定管理者名	社会福祉法人生駒市社会福祉協議会	指定期間	開始日	令和	3年	4月1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和	8年	3月31日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間	5年のうち3年目		
設置目的	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条第2項の規定により、本市に老人デイサービスセンターを設置					
主な実施事業等	入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等を行う事業その他市長が必要と認める事業。					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
要介護者	人	5,300	5,060	111.4%	利用者の増加
通所型介護予防	人	1,000	484	75.9%	サービスAへの人流
通所型サービスA	人	400	404	88.4%	要介護者への人流

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	81,684,000	76,504,418	67,437,345
指定管理料				
利用料金収入	C	65,020,000	60,311,218	50,827,476
自主事業収入				
その他		16,664,000	16,193,200	16,609,869
支出計	B	90,254,000	67,398,282	72,847,318
指定事業費		90,254,000	67,398,282	72,847,318
うち人件費	D	61,650,000	43,069,802	48,938,282
うち再委託料	E	5,240,000	4,669,813	4,773,352
自主事業費				
事業収支	A-B	-8,570,000	9,106,136	-5,409,973
利用料金比率	C/A	79.6%	78.8%	75.4%
人件費比率	D/B	68.3%	63.9%	67.2%
再委託費比率	E/B	5.8%	6.9%	6.6%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等 ホームページ上で公開 (URL: https://ikomashakyo.or.jp/pages/53/)		対応実績等 生駒市社会福祉協議会ホームページにて実施結果を公表している。ご意見は日々のレクリエーションや、ご利用時間の柔軟な対応等に反映させている。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価
	健全な介護保険事業として管理運営を行い、ボランティアの活動の場も提供している。また、通所型サービスC（パワーアップPLUS教室）を生駒市より受託し、公共施設の特性を活かした有効活用にも取り組んでいる。
	市の評価
	通所型サービス事業と介護予防のためのパワーアップPLUS教室をはじめ、ボランティア活動の受け入れも行い、設置目的に則した施設の有効活用に取り組んでいただいている。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価
	介護保険制度に則り、市民に対し平等な利用を確保している。
	市の評価
	介護保険制度及び市条例等を遵守し、重要事項を別紙で説明しており、市民の平等な利用の確保に努めていただいている。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価
	日々のミーティングや個別の利用者ケース会議、利用者アンケートを実施し、レクリエーション等に反映させ、利用者の満足度向上に努めている。また、苦情については、法人に苦情申出窓口と第三者委員を設置している。
	市の評価
	利用者アンケートを実施し、利用者の満足度向上に努めていただいている。また、苦情が発生した場合は法人の苦情申し出窓口と第三者委員で適切に対処されている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	施設管理面では夜間警備を機械警備としている。また、生駒市環境マネジメントシステムを導入し、節電等にも努めている。
	市の評価
	当市の環境マネジメントシステムに則り、節電を行っている他、人員配置の見直し等の経費削減にも努めていただいている。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	見学や体験利用からの介護保険利用者の利用促進や、市からの受託事業を積極的に受け入れて収益増加に努めている。
	市の評価
	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてきたことに伴い、利用者の増加があったため収入が増加した。今後も市からの受託事業を積極的に受けていただく等の収入増加に努めていただきたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価
	県の指定基準を満たす人員配置を行い、職員を対象とした研修会を定期的に行い、職員の資質向上に努めている。また、ホームページやSNSを利用した広報活動を行っている。
	市の評価
	人員配置の見直し、職員向けの研修会の実施等の職員の資質向上に努めていただいている。また、SNSを活用した広報活動も積極的に行っていただいている。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価
	無料の排泄ケア相談所（ミニむつき庵いこま）を設置し、おむつフィッターの資格保持者が利用者や市内の介護家族等を対象に相談対応を行っている。
	市の評価
	例年、積極的に自主事業に取り組み、よりよい介護サービス提供に努めていただいている。今後も継続して取り組んでいただきたい。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価
	法人独自で個人情報保護に関する方針を作成し、職員に周知の上順守している。また、緊急事故発生時のマニュアルや消防計画の作成、年2回の消防訓練、定期的な消防設備の点検を実施し、危機管理体制の強化に努めている。又BCPについては策定済である。
	市の評価
	緊急時に備えたマニュアルを職員がいつでも確認できる場所に配備されており、職員への安全管理の強化に努めている。また、個人情報保護についての法人独自の方針を作成し、利用者にも説明を行い、個人情報保護の徹底に努めていただいている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価
	利用者数増加に努めつつ事務経費等の削減を行う等の収支の改善に努めた。
	市の評価
	今後も利用者数の増加を図り、収入の増加に努めていただくとともに、利用者へのサービスに支障が出ない範囲で経費削減を行い、安定的な事業継続に努めていただきたい。

6 指定管理者の財務の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産	364,263,112	340,560,501	325,723,141
流動資産	49,135,320	52,850,699	47,797,745
固定資産	315,127,792	287,709,802	277,925,396
負債	111,792,780	114,337,867	111,242,122
流動負債	33,949,841	39,306,107	34,981,009
固定負債	77,842,939	75,031,760	76,261,113
純資産	252,470,332	226,222,634	214,481,019
基本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
事業活動収入	276,930,464	279,994,051	285,735,099
経常収支差額	-24,767,728	-26,094,112	-13,641,474

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
負債比率 (流動負債＋固定負債)／純資産×100	44.3%	50.5%	51.9%
固定比率 固定資産／純資産×100	124.8%	127.2%	129.6%
流動比率 流動資産／流動負債×100	144.7%	134.5%	136.6%
固定長期適合率 固定資産／(純資産＋固定負債)×100	95.4%	95.5%	95.6%
総資産回転率 売上高／資産×100	76.0%	82.2%	87.7%
総資産経常利益率 経常利益／資産×100	-6.8%	-7.7%	-4.2%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
社会福祉協議会としての責務を果たすべく、パワーアップPLUS教室の受託を始め、介護予防事業に積極的に取り組むことはもとより、自主事業として「ミニむつき庵いこま」を設置する等、今後も先駆的な介護保険事業所としての運営に努めていく。ただし、施設の老朽化による設備の故障が増大してきており、利用者に良好なサービスの提供が困難となってきたため、市による施設・設備（キュービクル等）の改修等が是非とも必要である。またボランティアや研修生の受け入れの再開を行っているところである。
市の評価
市からの受託事業や自主事業、効果的な経費削減を実施していることを高く評価します。新型コロナウイルスが5類になり、再開できる業務が増えてきて、利用者も増加していることから、今後も引き続き施設の認知度向上及び利用者数の増加に努めていただきたい。